東京芝浦外語学院

TOKYO SHIBAURA INSTITUTE OF FOREIGN LANGUAGE

日本語教育課程と学習内容

進学につながる日本語を学ぶ

本校では、日本の大学・専門学校などへの進学を目指し、日本語の基礎から、進学後の学習に必要な力まで段階的に身に付けます。

「聞く」「読む」「話す（やり取り・発表）」「書く」を組み合わせた授業を通して、自分の考えを伝え、他者と協力しながら学ぶ力を育てます。

教育課程

課程	総授業時間数（単位時間）
進学 2 年課程	1,520 時間
進学 1 年 9 か月課程	1,332 時間
進学 1 年 6 か月課程	1,140 時間
進学 1 年 3 か月課程	952 時間

授業は年間 190 日、1 日 4 単位時間（1 単位時間 45 分）を基本とします。
各課程では、日本語教育の参照枠に沿って、B2 レベルを目標に学習を進めます。開始する学習段階は課程によって異なります。

段階に応じた学習

学習段階	身に付ける力
初級 A1～A2	身近な表現を理解し、生活や学校で必要なやり取りをする。経験や予定を簡単な文章で伝える。
中級 B1	文章や音声の要点を捉え、経験や考えを理由とともに説明する。
中上級 B2	社会的・学術的な内容を理解し、資料や根拠を用いて意見を述べ、レポートや発表にまとめる。

※各課程の開始段階に応じて学習します。B2 段階の文章作成（作文）は、総合演習等の中で扱います。

授業科目と学習内容

文型・文法
文の形や意味、使い方を学び、場面に合った表現で話したり書いたりする力を身に付けます。

読解
身近な案内文から新聞記事・論説まで読み、必要な情報や要点、筆者の考えを理解する力を養います。

聴解
日常会話からニュース・講義まで聞き、内容の要点や話し手の意図を捉える力を養います。

表記
仮名・漢字・語彙を学び、生活や学習の場面で正しく読み書きし、使う力を身に付けます。

作文
身近な経験や自分の意見を、読み手に分かりやすく書く練習をします。構成を考え、助言を受けて書き直す力も養います。

会話（日本事情・タスクを含む）
日本の生活・社会・文化を題材に、会話、調査、話し合い、発表を行います。相手や目的に合わせて伝え、協力して課題に取り組む力を育てます。

総合演習
進学後の学習を見据え、講義のメモ、資料の整理・要約、引用を用いたレポート作成、発表・質疑応答に取り組みます。

課程別 科目別授業時間数（単位時間）

科目	2年	1年9か月	1年6か月	1年3か月
文型・文法	370	320	270	220
読解	110	100	90	90
聴解	270	260	230	210
表記	220	192	160	130
作文	50	40	30	30
会話（日本事情・タスクを含む）	420	340	280	192
総合演習	80	80	80	80
合計	1,520	1,332	1,140	952

使用教科書
『つなぐにほんご』『４技能でひろがる中級日本語カルテット』
『人と社会をつなぐ日本語 上級』を使用します。

生徒、教員及び職員の数

公表基準日：2026 年 10 月 1 日現在

区分	人数
生徒（在籍者数）	154 名
収容定員	160 名
教員	計 10 名（本務等７名・非常勤３名）
職員	計３名

設置者：東福社有限会社　／　代表者：林 継夫　／　主たる事務所：東京都港区海岸３丁目１番 12 号

日本語教育機関：東京芝浦外語学院（TOKYO SHIBAURA INSTITUTE OF FOREIGN LANGUAGE）

所在地：東京都港区海岸３丁目１番 12 号（UP 中央東福ビル内）